

大分労働局長が「ベストプラクティス企業」を訪問しました！

1 ベストプラクティス企業って？

時間外労働の削減、年次有給休暇の取得率向上など、**働き方改革**に積極的に取り組んでおり、その成果が表れている企業です。



2 今回訪問した会社は？

会社名：**大分デバイステクノロジー株式会社**

所在地：大分市大字野津原1660番地

代表者：代表取締役 安部征吾

訪問日：令和元年11月15日（金）

3 何をしている会社なの？

主に、汎用性のある半導体を製造しています。半導体は、自動車や家電などの生活に身近な所に使用されています。



4 働き方改革による取組効果は？

- ① 月平均時間外労働時間の削減で、時間外労働コスト削減
21.1時間（平成27年） ⇒ 7.6時間（平成30年）
- ② 年休取得日数の増加で、労働者の満足度UP、生産性UP
10.1日（平成27年） ⇒ 14.8日（平成30年）
- ③ 定着率の上昇（入社3年後）で、採用・教育コスト削減、生産性UP
69.2%（平成12～21年） ⇒ 100%（平成22～31年）



平成31年4月には、削減コストを原資に
新卒初任給と労働者賃金UP！！

働き方改革の取組内容

○ 従来のタイムカードを廃止し勤怠管理システムの導入

問題点

- ・ 時間外労働の状況確認が後追い
- ・ 業務の偏りを把握しにくい



労働時間管理の改善

- ・ リアルタイムで情報把握ができる
- ⇒ 業務の偏りをなくし、時間外労働の削減、年休の取得促進、総務担当者の業務量減少



○ 気づき提案活動

■ 気づき提案 提出状況



問題点

作業者が普段感じていることが生かされずに、3 F（不安・負担・不満）の職場



- ・ 3 F（不安・負担・不満）の提案を受け、作業の見直し、設備の改善
- ・ 提出しやすい環境を作り、よい提案は表彰する

⇒ 業務効率化、生産性向上によって、時間外労働の削減、年休の取得促進



この他にも「多能工化」や「スタッフのスケジュールのシステム一元管理」、「社長との対話会」などにより、生産性向上、時間外労働削減や年休の取得促進だけでなく、働きやすい職場になってるよ。

基本方針は、「社員が主役の会社」なんだよ！